

久喜市政の焦点

久喜市の「ごみ行政」

新方針で地球温暖化・
環境破壊促進へ！

①プラ全量焼却は、とんでもない！
久喜市は、新ごみ処理場建設に向け、
とんでもない過ちを犯そうとしている。
市民は「燃やせるゴミ」と「プラスチック」を分別し資源ごみとして出している。市はこれをやめて「プラスチック」を全部「燃やせるゴミ」にしようというのだ。「少しでもリサイクルできれば」との市民の願いを踏みにじり、地球温暖化を促進することになる。分別は継続すべきだ！

②生産、流通、消費で

政治と企業に責任

日本のごみ環境行政においては、プラスチック製品の製造・販売事業者が、消費者から包装プラ・製品を円滑に自主回収・リサイクルできる環境を整備することが求められている。
石油、石炭という化石燃料ではない代替物質に転換することが求められている。『SDGs』（持続可能な開発目標）にも反する今回の久喜市の方針に、市民はこぞって反対を。

増設予定の菖蒲清掃センター



住民要求実現で住みよい久喜市を 日本共産党久喜市議団

浸水しない場所へ避難を



昨年、台風19号で久喜市は初めて避難勧告を発令し多くの人が避難しました。昨年の経験から「広域避難」の必要性が改めて明らかとなり、栗橋95%・鷺宮80%・久喜50%・菖蒲25%が広域避難対象です。私は「市は広域避難場所を確保すべきで、その姿勢が欠けている」「各人で避難して」だけでは市民の命は守れない」と提起。市は「県の施設や公共施設・民間施設に働きかけている。重要であり現在も交渉している」との答弁です。

大規模水害は早く「避難する」ことが重要です。石田としはる

理科大跡地施設の活用を



梅田市長になり理科大施設の活用を見直し、民間活力を取り込む可能性について検討をしてきました。活用意向調査の結果、実現は難しいと判断されると、「老朽化した校舎の維持管理と改修に経費がかかる」とを理由に公共施設としての利用はしないとの結論です。これまで3億円以上をかけて改修し、市民利用を促してきた施設です。市民が活動し、子育ての拠点とする施設として活用すべきです。渡辺 まさよ

補聴器購入に市独自補助を



昨年6月議会では、補聴器購入の支援を行うべきと質問した後、多くの方々から実現してほしいとの声を沢山いただき、再度要望しました。前回は、「耳の聞こえにくさでお困りの方がいるのは認識しているが、国の動向等も注視しながら、市として検討していきたい。」今回は「市として、国の研究状況の確認と、県内自治体の補聴器購入補助の実施状況について調査を進めてきた。引き続き国の動向を注視していきたい。」

*消極的な答弁です。引き続き要望します。平間 ますみ

LGBTQ(性的少数者)に
パートナーシップ条例を

当事者にとつては深刻であり、行政の寄り添い相談やパートナーとして認められた場合の様々なメリットなど、具体的な幸せの享受を必要としている。条例化と並行して要綱や制度での進展もできるはず。喫緊の課題だという認識はあるか。

「答弁は『ある。』」ならば取り組みも急いで進める必要がある。この他に「コロナ対策、貧困者対策」などを質問しました。杉野 おさむ

9月議会に提案された意見書

各議員の対応はあなたの思いと一致していますか (○は賛成)

意見書の主旨	提出会派	共産 4人	市民 3人	無会 1人	公明 5人	新政 8人	政策 6人	採決 結果
オンライン本会議の実現に必要な地方自治法改正を求める意見書	政策の会 くき	○	○	○	○	○	○	可決
公立・公的病院の統廃合計画を撤回し地域医療の拡充を求める意見書	日本 共産党	○	○	○	×	○	×	可決
子どもたちに少人数学級を求める意見書	日本 共産党	○	○	○	×	×	×	否決
P C R検査等の拡充を求める意見書	市民の政治 を進める会	○	○	○	×	×	○	可決
		可否同数となり、議長裁決の結果						